

## 会 議 録

会 議 名	平成 27 年度第 4 回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会	
日 時	平成 28 年 3 月 23 日（水） 午後 3 時 30 分～5 時 30 分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 702 会議室	
出 席 者 氏 名	委 員	井上仁会長、中込順子副会長、青木訓行委員、荒井容子委員、石田健太郎委員、内野彰裕委員、岡崎理香委員、栗本正男委員、後藤高浩委員、小林千里委員、塩澤伸久委員、田口勝美委員、立石晴美委員、田中伸幸委員、中嶋美和委員、（会長、副会長、以下五十音順）
	関連所管	富山大横保健福祉センター館長、永松障害者福祉課主査
	事 務 局	平塚子どものしあわせ課長、久間保育対策課長、澤田保育幼稚園課長、橋本子育て支援課長、福田子ども家庭支援センター館長、本間主査、川上主査、小島主査、秋元主査、中山主査 他
欠 席 者 氏 名	辰田雄一委員、西村高志委員、宮崎豊彦委員	
議 題	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 28 年度における子ども育成計画の推進について</li> <li>2 第 3 次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく☆はちおうじ」の点検・評価様式（案）について</li> </ol> <p>報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」の改正について</li> <li>2 平成 27 年度 指導監査について</li> <li>3 社会福祉審議会代表者会及び各部会の開催状況について</li> <li>4 平成 28 年度 国の子ども・子育て関連予算について</li> <li>5 事故報告検討会について</li> </ol>	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	0 名	
配 付 資 料 名	別紙のとおり	
会 議 の 内 容	別紙のとおり	
会 議 録 署 名 人	平成 28 年 4 月 21 日 石田 健太郎	

#### 配付資料

- 平成 28 年度における子ども育成計画の推進について
- 子ども・子育て支援事業計画 平成 28 年度予算による推進状況
- 第 3 次八王子市子ども育成計画「ビジョンすくすく☆はちおうじ」の点検・評価について
- 法律（差別解消法）の施行及び障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例（差別禁止条例）の改正について
- 平成 27 年度 指導監査について
- 社会福祉審議会代表者会及び各部会の開催状況について
- 平成 28 年度 国の子ども・子育て関連予算について
- 事故報告検討会について

#### 別添

- 「こんにちは赤ちゃん」～親子の健康ガイド～
- 「八王子市義務教育就学児医療費助成制度」
- 「みんなちがって みんないい」障害のある人を理解するためのガイドブック
- 親子で木と遊ぼう！「はちおうじ木育フェスティバル」

【井上会長】では開会いたします。

初めに平成28年度における子ども育成計画の推進について、事務局から説明をお願いします。

## 議事

### 1 平成28年度における子ども育成計画の推進について

【平塚子どものしあわせ課長】それでは、私から説明いたします。お手元の資料をご覧ください。(資料「平成28年度における子ども育成計画の推進について」について説明)

一旦ここで説明を区切りまして、大横保健福祉センター館長からネウボラについて説明をいただきたいと思います。

【富山大横保健福祉センター館長】(資料「平成28年度における子ども育成計画の推進について」妊娠期支援事業(参考資料)部分について説明)(資料「平成28年度における子ども育成計画の推進について」〈妊娠期支援事業「八王子版ネウボラ」事業の概要〉部分について説明)

【平塚子どものしあわせ課長】続きまして、子ども・子育て支援事業計画の進捗に主だった動きがある事業について、平成28年度予算との関連も含めて説明いたします。全体の進捗状況については、年度が明けてから改めて説明させていただきます。(資料「子ども・子育て支援事業計画 平成28年度予算による推進状況」について説明)

教育・保育の部分につきましては、保育対策課長から詳しく説明いたします。

【久間保育対策課長】(資料「子ども・子育て支援事業計画 平成28年度予算による推進状況」教育・保育部分について説明)

平成28年4月の0歳児人口が推計よりも100人くらい多くなりそうです。この0歳児が来年は1歳児になります。1歳児の半分は保育園を利用しますから、50人分の定員が不足する状況になります。そのため、4月の申込状況を分析したうえで、一定の計画の見直しは必要だろうと考えております。

【井上会長】進捗状況、ネウボラを含めまして、何かご質問等ございますか。

保育士の確保対策は大丈夫ですか。保育士不足になっていないですか。

【久間保育対策課長】大丈夫です。宿舍借り上げ支援のほかにも、積極的に就職相談会、面接会、研修会などを開いています。また、保育園協会が保育士養成学校に働きかけ、八王子市の保育園にきてもらえるような取組も始めています。

【井上会長】あとはよろしいですか。

【田中委員】赤ちゃんふれあい事業とは、具体的にどのようなことをするのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】中学校に助産師が出向きまして、生命を題材に1時間授業を行い、もう1時間、地域の妊婦さんや赤ちゃん連れの親子に中学校に来てもらって触れ合ったり、妊婦体験ジャケットを利用して中学生に妊婦の疑似体験をしてもらったりします。

【井上会長】他にはよろしいですか。

ネウボラに関してですが、「こんにちは赤ちゃん（親子の健康ガイド）」の冊子に保健師の氏名を書く場所がありません。

【富山大横保健福祉センター館長】この冊子とは別に、「あなたの担当は誰々です」という名前が書かれた名刺のようなカードをお渡しします。また、家に掲示しておけるような保健福祉センターの電話番号が書かれたマグネット型のものお渡しします。

【井上会長】他に、要支援家庭の部分などはいかがですか。ご意見ございますか。

毎回思うのですが、ひとり親、貧困家庭といったラベリングがないような支援方法やネーミングを考えていただきたいです。国の補助金の関係もあり、難しい点もあるでしょうが、ぜひ検討していただきたいと思います。

皆さんから他に何かございますか。

【石田委員】小児・障害メディカルセンターというものは、発達支援センターとは別のものなのでしょうか。

【永松障害者福祉課主査】はい。今までにはなかった講座を開設するものです。

【井上会長】他にはよろしいですか。

次のページに移りますが、なぜ0歳児人口が増えているのでしょうか。

【富山大横保健福祉センター館長】2月までの妊娠届出数は、平成26年度よりも少し減っています。

【井上会長】いったいどういう効果があったのか、ぜひ分析していただきたいと思います。

病児・病後児保育事業が少し気になります。ファミリー・サポート・センターの病児預かりの確保策ですが、どのように取り組んでいくのですか。看護師の資格を持った方を募集する、などでしょうか。

【橋本子育て支援課長】看護師の資格がなくても、相当数の研修を受ければ、病児の預かりができるようになります。その研修を受けていただくような取組を平成29年度以降始

めていく考えです。

【井上会長】他にはよろしいですか。

【中嶋委員】ネウボラについてですが、もし発達に問題があった場合は、ネウボラの方が支援していく形になるのでしょうか。

【富山大横保健福祉センター館長】地区の担当の保健師が核になって支援していきますが、保健師だけで全ての支援は賄えないと思いますので、医療機関や療育機関と連携を取りまして、情報提供に努め、就学先につないでいく、そういった形を想定しています。

【井上会長】では、次の議題に移ってよろしいでしょうか。

【平塚子どものしあわせ課長】申し訳ございません。障害者福祉課からの報告を先にさせていていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【井上会長】はい。では、条例の改正について報告をお願いします。

## 報告

### 1 「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」の改正について

【永松障害者福祉課主査】（資料「法律（差別解消法）の施行及び障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例（差別禁止条例）の改正について」について説明）

【井上会長】これについて何か質問はございますか。

配布していただいた「みんなちがって みんないい」の冊子には、性同一性障害に関する記載がありません。障害とっていいのかどうか難しい問題ですが、子どもたちの間でもいじめの対象になりかねませんので、ぜひ機会があれば取り上げていただきたいと思いません。

また、調整委員会の件ですが、行政全般的に、窓口で相談を受けた差別の問題が窓口対応の範囲で済んでしまい、調整委員会に問題が諮られることのないまま終わってしまうということがありがちなようです。八王子市では調整委員会が活用されることを期待します。

【永松障害者福祉課主査】委員の数も増やし、今までは相談で終わってしまっていたようなケースも含め、解決に向けて協議する場にしていく予定です。

【立石委員】以前、自分の子どもが通っていた中学校では、特別支援学校との交流をしていました。しかし、親の負担の大きさや学校の受け入れ態勢などの理由で、今は交流がなくなりました。交流の体験を持つと子どもの障害者に対する対応が大分違ってきて、とてもよかったと思っています。ぜひ交流の機会が作れるといいと思います。

【石田委員】市に義務づける合理的配慮とは、どの程度の内容になるのですか。

【永松障害者福祉課主査】合理的配慮の内容は、多大な費用が掛かるバリアフリー工事のようなハード面のものではなく、主にソフト面の対応になるかと思います。市の職員が取るべき行動基準や過重な負担があるかないかの判断基準を作っていく予定です。

【青木委員】障害の「害」の字はひらがなにするとか、市として配慮はしないのですか。

【永松障害者福祉課主査】八王子市としては、今のところ「障害者基本法」という漢字が使われた法律を基に漢字を使っています。

【井上会長】法的な面は別にして、ガイドブックなどの啓発面での表現の仕方については、ぜひ市がリーダーシップをとって配慮していただきたいと思います。

【中嶋委員】学校向けの副教材に指文字について載せていくことは考えていらっしゃるでしょうか。

【永松障害者福祉課主査】どのような内容とするかはこれから考えていくところですが、ぜひ検討材料とさせていただきます。

【井上会長】今はスマートホンでQRコードを読み取ると音声が入るといったものもあります。

【永松障害者福祉課主査】合理的な配慮だと思います。検討したいと思います。

【井上会長】では、この件はこれでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

続きまして、第3次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく・はちおうじ」の点検・評価様式について、事務局から説明をお願いします。

## 議事

### 2 第3次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく・はちおうじ」の点検・評価様式(案)について

【平塚子どものしあわせ課長】(資料「第3次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく・はちおうじ」の点検・評価について」について説明)

【井上会長】17の基本施策についてどこまで市が踏み込んで取り組んだか、評価をするわけですが、国事業や市がやるべき固定された事業を100パーセント実施するのは当たり前ですから、そこを評価しても仕方ありません。新たに育成計画に組み込んだ考え方がどう展開されたのかを評価したい。この点は前身の審議会でも提案したところですが、それを受けて事務局から上がってきたものがお手元にサンプルとして提示されている様式です。

委員の皆さんからご意見ありますでしょうか。

【後藤委員】利用者である市民による評価を吸い上げるような仕組みはないのでしょうか。

【平塚子どものしあわせ課長】仕組みとしては、審議会による評価を外部評価、市民の評価と位置付けています。個々の市民の声についてですが、各事業で行っているアンケートの結果を付随して掲載することは可能かと思えます。どの事業でアンケートを行っているか、調べてお示ししたいと思います。

【井上会長】こういう形で評価をしていくということによろしいですか。

(「はい」との声あり)

では、こういう形で進めさせていただきます。

議事は以上になります。次、報告事項の残りの部分を、事務局からお願いします。

## 報告

### 2 平成 27 年度 指導監査について

【澤田保育幼稚園課長】(資料「平成 27 年度 指導監査について」について説明)

【井上会長】これについて何かございますか。

指導監査を質の向上に生かしていただきたいと思えます。

【平塚子どものしあわせ課長】補足ですが、認可保育所の実施率が 57 パーセントとなっているのは、2 年かけて全て行うためです。

【井上会長】続きまして、代表者会及び各部会の開催状況についての報告ですが、まず認可部会からお願いします。

## 報告

### 3 社会福祉審議会代表者会及び各部会の開催状況について

【澤田保育幼稚園課長】(資料「社会福祉審議会代表者会及び各部会の開催状況について」児童福祉施設等認可部会部分について説明)

【井上会長】部会長から補足などございませんか。

【石田委員】大丈夫です。

【井上会長】では、子どもにやさしいまちづくり部会の報告をお願いします。

【平塚子どものしあわせ課長】(資料「社会福祉審議会代表者会及び各部会の開催状況について」子どもにやさしいまちづくり部会部分について説明)

【井上会長】よろしいでしょうか。では、2月18日に代表者会議が開かれましたので、その件について事務局から奉告をお願いします。

【平塚子どものしあわせ課長】（「社会福祉審議会代表者会及び各部会の開催状況について」社会福祉審議会代表者会部分について説明）

【井上会長】社会福祉審議会会長、担当所管課と、育成計画と他の計画が二重構造とならないよう、意見交換しました。調整機能を働かせるのは大変ですが、すり合わせができる場にしたいと思います。

【平塚子どものしあわせ課長】次の報告は順番を入れ替え、事故報告検討会の件を先に報告したいと思います。

【井上会長】では、事故報告検討会について報告をお願いします。

## 報告

### 5 事故報告検討会について

【澤田保育幼稚園課長】（資料「事故報告検討会について」について説明）国では、今まで教育・保育施設における重大事故の集約や関係機関の情報共有が十分でなかったとして、重大事故発生防止のための取組を検討してきたところです。ここでその検討会の取りまとめ概要が示されましたので、その内容をお知らせします。

現在国では事故の発生防止のためのガイドライン、対応マニュアルの作成を進めており、市ではそれらを参考に事故の再発防止に取り組んでいくことになります。重大事故が発生した時には、外部の委員で構成する検証委員会を立ち上げ、発生原因の分析や再発防止策を検討しなくてはならない。と示されています。検証する委員については、この分科会の委員にもお願いをすることになるかもしれません。国から詳細が示されましたら、改めて報告いたします。

【井上会長】検証委員会については、その都度の委員会にするのか、常設にするのか、まだわかりませんが、少し勉強しておく必要があるかもしれません。国の指針がもうすぐ出るのではないかと思いますので、発出されましたらまた報告をお願いします。

では、時間が残り少ないので、次の国の予算についてはポイントだけ説明していただいて、あとは各自お読みいただければと思います。

## 報告

### 4 平成 28 年度 国の子ども・子育て関連予算について

【平塚子どものしあわせ課長】（資料「平成 28 年度 国の子ども・子育て関連予算について」について説明）私から概要だけ説明いたします。全ての子どもの安心と希望の実現プロジェクトの部分をご覧ください。重点的に力を入れて取り組むべきものとして、ひとり親家庭・多子世帯等自立支援策、児童虐待防止対策が挙げられています。児童福祉法、母子保健法の改正を踏まえた、労働、教育、医療を横断するようなパッケージが示されています。

また、児童福祉法の改正においては、中核市に児童相談所を必置、という議論もされてきました。まだ法案が提出されていませんので、新聞記事を見る限りなのですが、今の経過を見ると、ただちに中核市に設置するというにはならないものの、5～6年後には設置することが求められる動きもあるようです。

残りの部分もお時間がありましたら目を通していただければと思います。

【井上会長】このあと保育に関する施策が追加で打ち出されてくる動きがあります。

それから中核市の児童相談所の件については、八王子市で設置するとなると、かなり準備をしないと難しいと思います。法律がどうなるか流動的ですが、23区は設置を希望しています。この分科会でも検討を進めていきたいと思っています。

もう1点、八王子市が毎年実施している子どもフォーラムで、子どもの参画をどう実現していくかという点ですが、子どもフォーラムは先ほど議題にありました評価の結果を市民に伝える場にもなりますので、私たち委員も主体的に関わって、八王子の子ども・子育てはこうだ、と発信する、また、子どもたちにも発信してもらおうという場にしていきたいと思っています。次回、そういう仕組みを含めて事務局から案を提示していただき、どうしたら八王子の子ども・子育てについて発信できるか、委員にご意見を伺いたいと思いますので、準備方よろしく願いいたします。

では、議題、報告事項は以上になります。これで分科会を終了します。